



毎週日曜発行
2025 7/13

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

宮城県富谷市が4月、使用済みペットボトルを新しいペットボトルに再生する「『ボトルもオポトル』水平リサイクル」を始めたよ。他の製品に



地球のためにできること

水平リサイクルって何？

12 つくる責任
つかう責任



ペットボトル 何度も再生

ボトルは1年間で約200リットルに上ります。これまでに、その多くはトレーや卵パック、衣類などに再利用されてきました。が、使い終わった後はごみとして焼却されていきました。

この資源の循環が途



再利用するより無駄なくリサイクルでき、地球環境に優しい取り組みなんだ。国連の持続可能な開発目標（SDGs）の目標12「つくる責任、つかう責任」につながるね。

「ペットボトルを他の物に再利用すると、二度とペットボトルに戻すことはできません」

こう説明するのは、富谷市でリサイクルの啓発活動を行う「エコ戦隊カンキョウマン」です。市内の協業組合「富谷環境」が2013年に考案した4人組のヒーローで、今年には水平リサイクルのPRに力を入れています。市が回収するペット



市生活環境課の高橋拓也主事(29)は「石油由来の原料から新たにペットボトルを作るのに比べ、二酸化炭素の発生も抑制できるようなりました」と話します。

サントリーは同様の協定を宮城県気仙沼市、南三陸町、塩釜市など200以上の自治体と結んでいます。同社サステナビリティ経営推進本部の森谷伸一上席担当部長(61)は「農産物と水を使った商品を手がける社として、資源循環型の社会を目指すのは当然の使命です」と強調します。



では、私たち一人一人にできることは何でしょうか。それは①ラベルを剥がす②キャップを外す③ボトルをすぐとった正しい分別をすることです。

カンキョウマンもみんなの協力を期待しています。「きれいに分別してくればリサイクルできるペットボトルが増え、限りある資源を無駄なく使い続けられます。できることをしっかりやっていきましょう」

この日 何の日

◇14日(月) しんぶん配達の日
日本新聞販売協会が制定。1977年のこの日、日本初の気象衛星「ひまわり」が打ち上げられました。地球を回って情報をもたらす気象衛星と、正確な情報を届ける新聞の戸別配達のイメージを重ねています。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どき
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 投稿特集 八木山の思い出

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ